

6年生のお兄さんと写真を撮って遊んだよ！

岡山市立今幼稚園（岡山県岡山市）

（2年保育5歳児）（7月23日）

（1）本事例の趣旨

6月に学区の西小学校で行われた「西小祭り」に参加した5歳児が、デジタルカメラで写真を撮ってもらい、その写真をもらって帰った。撮ってすぐ写真になるという幼児にとって不思議な活動を自分たちでもしてみたいという思いから、6年生に教えてもらう機会をもつことにした。

機器の扱いを教わったり、一緒に写真を撮ったり、撮る対象を考えたりする中でデジタル機器に関する関心、興味をもたせたいと考えた。

（2）実践の展開

「デジタルカメラで写真を撮ろう！！」

6年生のかかわり

幼児の姿

教師の援助

撮りたいものを画面に写して、ここ(シャッター)を押すんだ。

カメラを使いたいな！

上手に撮れているね。いろいろ撮ってごらん！

カメが撮れた。友達も撮ったよ。カメラが使えるようになったよ！！

デジタルカメラには他にもいろんなことが出来るんだよ。

撮った写真がすぐ見れるんだ！6年生、何でも知ってるんだね。すごいな！

ほんとだね！？でも失敗しても大丈夫！何回でも撮りなおせるよ！

あれ？ちゃんと撮ったのになあ。へんだなあ

そっか。じゃあ、もう一度撮ろう！〇〇ちゃん、一緒に撮ろうよ！

使えるようになってよかったね。友達にも使い方を教えてあげよ。

6年生のお兄さん、ありがとう！

○デジタルカメラの使い方、扱い方など分からないことは6年生に聞くように声を掛ける。

○6年生が幼児の思いや考えを聞き、受け入れたり、幼児にデジタルカメラの使い方を知らせたりしながら遊びを進められるように仲立ちをする。

○幼児と6年生が一緒に写真を撮っている姿や友達を誘っている姿を認め、デジタルカメラが使えるようになった喜びに共感していくようにする。



「プリントアウトをしよう！！」

6年生のかかわり

幼児の姿

教師の援助

そっか！じゃあ、プリントアウトに挑戦してみよう。自分の気に入った写真をプリントアウトできるよ。

写真をいっぱい撮ったから、次は本当の写真にしたい！

○分からないことは6年生に尋ねるように伝え、6年生にかかわりながら遊びが進めていけるようにする。

そうだよ！やってみよう！

この機械で写真がつくれるの？

○自分でプリントアウトできた喜びが味わえるように、6年生に教えてもらったことを、自分で操作してやってみるように励ます。

もう少しだよ……。楽しみだね！

(プリンターから写真が)でてくる……。でてくる……。

○写真の掲示コーナーを準備し、友達の撮った写真を見られるようにしておく。

そっか！じゃあ、プリントアウトしてみよう。次はどんな写真が出来るか楽しみだ。

さっきよりよい写真を撮ったよ！

ほんとだね！じゃあ、○ちゃんも写真を撮ってみようよ！

みてみて！ここ(掲示板)に友達の写真が貼ってあるよ！僕も写真をとってみたいな。

(3)考察

- 幼児は頼りになる6年生と一緒に、デジタルカメラやプリンターなどの未知の機器を使う体験ができ、自分でもできる驚きと喜びで、満足感が味わえたと思う。
- 幼児だけでは体験できない活動であったが、6年生がそばにいて、教えたり、励ましたりしたことで、安心して活動に取り組めたものとする。友達が楽しんで撮った写真を見て自分もやりたい、と意欲的に取り組んだ幼児も多く、友達の存在の大きさも感じた。
- 幼児だけでもデジタルカメラを使えるような環境を考え、“身近な生き物・友だちの姿・楽しかった活動”など、幼児自らが「写してみたい」という意欲をもてるようにしていきたい。また、幼児が撮った写真を展示することによって、デジタルカメラを使う生活の楽しさを広げ、みんなで共有していきたい。

(4)今後の活動計画

- 保育参加日・園行事など、地域や保護者の人とかかわる機会があるときに、デジタルカメラを使った活動を意図的に設け、デジタルカメラに触れたり、使ったりできるようにしていく。
- 今後の幼・小交流活動において、デジタルカメラを使った交流の場を計画的に設けてもらうよう、小学校に働き掛ける。

みどころ

「デジタルカメラ」を知っているという子どもでも、自分で撮る対象を考えて写真を撮りプリントアウトするという行為は、心動かされる体験であるに違いありません。その活動を、小学6年生に教えてもらいながら進めたことで、大人に教わるよりも考え、一つ一つの行動や作業を意識して、取り組んだ幼児が多かったと思われます。6年生にとっては、授業で自分なりに考えて扱ってきた機器や作業を、幼児という相手のことを考えながら進めることで、機器の扱い、作業の意味や順番などを丁寧に振り返る経験になったと思われます。幼児に分かるように伝えたり助けたりすること、一緒に喜んだり考えたりすることで、自分の行為の意義や自身の成長なども感じることができたと思われます。デジタルカメラという機器やプリントアウトという活動に興味を持つ段階から、撮影をする対象に心を動かしたり観察したりするという経験の広がりや深まりを期待することもできます。